



[発行所]

中友会

港区西新橋1-22-13  
 全日本中学校長会館202号室  
 東京都中学校長会事務局内  
 TEL 03-3504-8705  
 FAX 03-3504-8706

会則第2条

●親睦  
 ●互助  
 ●生涯学習

<http://chuyu-kai.org/>

## コロナ禍の活動の中で

中友会副会長 八木 紀子

コロナ・コロナの年月を過ごさねばならない日は、いつまで続くのでしょうか。世界的な蔓延となつている年月、慣らされてしまつてか、身近に発生した情報がないこともあり、他人事のような毎日となつてしまった私でした。幸いにも三月後半に「まん延防止措置期間」の延期がなされないことになり、ほっとしているところですが。まだまだ現段階では油断は許されません。再度の対応が出現しないことを願うばかりです。

会の活動においても、引き続き工夫しながらの運びとなっております。今年度でできること・やらねばならないことを少しずつではありますが、進めております。会計監査も昨年にひき続き、監査会は中止し、書面により個別に監査をしていただきました。ご理解いただきますようお願いいたします。本会の活動のねらいは、親睦・互助・生涯学習です。他の多くの一般的な組織でも、同じようなねらいの活動が展開されていると思います。中友会では何と言つても、他にない行事を長年続けてきています。それが合祀慰霊祭なのです。同じ

目標を達成すべく努力を続けてきた仲間として、先達を尊び、心からの気持ちを届ける唯一無二の祭典です。

中友会では、この合祀慰霊祭という大事業のみならず、会報発行はもちろんのこと、会員の確認と名簿作成、そして財政健全化と三つの事業を順に行つてきているのです。年間を通して目標を絞り活動しています。

コロナ禍の年月、今、私たちにとつて重要なこととは、私たち自身の命や健康を守ることであり、顔を合わせての活動は要注意と考えて行動すべきと思つています。しかし、その中で実施しなければならぬものとして、昨年実施予定で準備を進めて来ていた合祀慰霊祭があります。三年に一度開催のこの慰霊祭を今年度の大きな行事として実施できるよう準備を進めています。この慰霊祭は本会の最重要行事であると考えています。従来通りとはいかないことも出てくるかと思われませんが、工夫して実施することにしております。ご理解ご協力をお願いいたします。

この慰霊祭に関しては、合祀者の確認・ご遺族様や会員への案内・護国寺様との連絡、そして毎回お世話いただいている東京都民互助会との打ち合わせなど、多くの準備が必要となります。昨年半ばより、担当者を中心にして本格的に準備に取り組んでまいりました。この慰霊祭のお知らせは、すでにご遺族様にはお届けし、返信をいただいているところです。コロナ禍での準備・実施に對して、感謝の声と同時に、「出席させてください。」という個別的な連絡もいただきました。恐縮いたしましたし、慰霊の気持ちが一層深く胸に湧き上がってきました。直接、慰霊祭に出席されない会員の皆様におかれましても、この機会に心を向けてくださいますようお願いいたします。そして、伝統あるこの慰霊祭を無事に収めることができますよう、また、末永く続けていきますようお願いいたします。

会員の皆様とは、なかなか対面する機会が持てない現状ですが、皆様がこの会報に目を留めていただくことが、大変うれしく思いますし、責任を感じさせられます。

私は、会報の「会員の窓」を特に楽しみにしている一人です。コロナで外出の機会が減少していた私に、勇気や楽しみを与えてくれます。懐かしい方のお顔が浮かんで来て、私に一層の生きる力を贈ってくれているようです。私だけでなくこのように、多くの会員が懐かしくなったり、喜んでいてくれたりした時間となっているのではないかと思います。今後も、このスペースを大切に、そして楽しみにしてまいりたいと思います。と同時に、このスペースに限らず、ご応募をお待ちしています。